



〈特定行為教育課程 ～受講を考えている皆さんへ修了生からのメッセージ〉

橋本博明(所属施設：岩手医科大学附属病院)

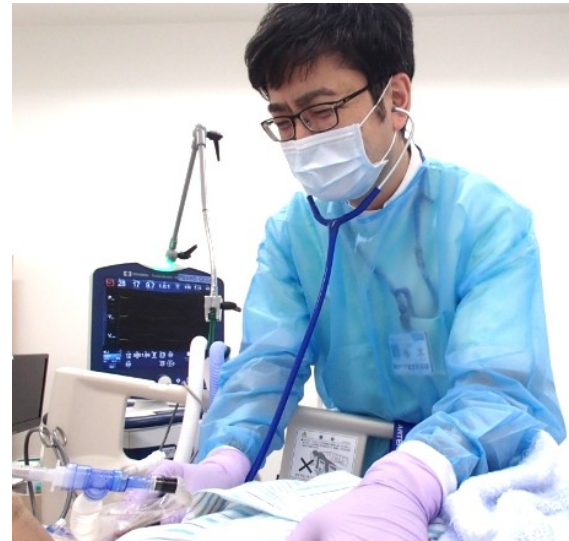
修了した特定行為区分

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

呼吸器（気道確保に係るもの）関連

呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連

呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連



Q 特定行為研修を受講しようと思ったきっかけについて

人工呼吸器を装着している患者さんに適時適切なケアを提供したいと常に思っていました。そして、患者さんの呼吸状態は数秒毎に変化していますので、患者さんの一番近くで寄り添った看護師だからこそ、特定行為を実践することにより回復を支援することが出来ると考えたためです。

Q、現在の活動と今後の展望について

現在はチーム医療で患者さんを支えることに努めています。

研修修了後は、以前より医師や多職種との情報交換を密に行い、高度な臨床実践能力を発揮してチーム医療の調整役を担っていきたいと考えています。

Q、研修受講を考えている方へのメッセージ

2025年以降に加速度を増して少子高齢化が進み、医療・看護は大きな転換期にあり看護師の役割拡大が求められています。その役割の一つとして特定行為研修修了者の知識や技術が必要とされています。患者さんと共に回復を喜ぶ仲間が増えることを願っています。



〈特定行為教育課程 ～受講を考えている皆さんへ修了生からのメッセージ～〉

岩淵しおり（所属施設：岩手医科大学附属病院）

修了した特定行為区分：外科術後病棟管理領域

Q. 特定行為研修を受講しようと思ったきっかけについて

クリティカルケア領域で看護に従事してきました。医師のスケジュールに合わせて、気管カニューレの交換や CVC の入れ替え等が実施される事が多いです。そのため、待機時間が長くなったり、患者の予定を変更・中断して処置が実施されたりする場面を多く経験しました。患者は不明点があっても医師に質問できず不安を抱えたままで処置を受け、事後に看護師に胸の内を明かしてくださることもありました。特定行為研修を修了し手順書を用いて医行為を実践できるようになれば、現状よりタイムリーだけでなく、看護の視点を持って丁寧な説明やプライバシー保護を行いながら処置や医行為を提供できると考え 2021 年に受講しました。



Q. 現在の活動と今後の展望について

2022 年から特定行為活動を開始し、ICU での勤務を継続しながら各種ドレーンや CVC 抜去、硬膜外麻酔薬の調整、PICC 挿入等を組織横断的に実践しています。徐々に外科術後管理領域を修了した仲間が増え、2024 年 9 月から院内全診療科を対象とした PICC 外来の開設に至り、特定看護師だけで年間 100 件以上の PICC 挿入を実践しています。患者様から「不安な気持ちを分かってくれる」「いつもの看護師さんだと思えば安心する」「丁寧さが違う」等の嬉しいお言葉を頂いています。スタッフからは、「新人や処置未経験の看護師でも安心して介助に付くことができる」「PICC の管理で分からないことも質問できる」と評価いただいています。現在は曜日を限定して PICC 挿入を行っていますが、仲間が増えていくことで、拡充していけるのではないかと感じています。

Q. 研修受講を考えている方へのメッセージ

特定行為を実践し始めた頃は、「看護師が医行為を行う意味について、患者は医師の処置を受けた方が安心なのではないか」と悩んでいました。指導医の助けを得ながら様々な症例を経験させていただき、安心感のある処置を提供できるようになりました。今は特定看護師になって良かったと思っています。もし迷っているなら、チャレンジしてみませんか。茨の道に感じるかもしれませんが、進んだ先にはきっと花が咲いています。

